

山下裕賀 & 小堀勇介 & 池内響

(メゾソプラノ)

(テノール)

(バリトン)

with 矢野雄太 in 神戸

(ピアノ)

小堀勇介
(テノール)

©T.Tairadate

池内 響
(バリトン)

©SEGI

矢野雄太
(ピアノ)

©Chiara Villa

いま、最も輝く日本オペラ界のスターたちが神戸に集結！
G.ロッシーニの傑作から、珠玉の名場面を
“いいとこどり”でお届けします！

山下裕賀
(メゾソプラノ)

©Yoshinobu Fukaya

2026

4.19

(日) 15:00開演(14:30開場)

神戸朝日ホール

〒650-0035 兵庫県神戸市中央区浪花町59

一般: ¥5,000 U30: ¥2,000 ※全席指定・税込

一般発売 2025年12月20日[土]10:00~

主催: 神戸朝日ホール

お問合せ 神戸朝日ホール 078-333-6540 (10:00~17:00)

G.ロッシーニ:

歌劇《ブルスキーン氏》より「お金はきっと払います」 小堀・池内

歌劇《アルジェのイタリア女》より「ひどい運命よ！」 山下

歌劇《ランスへの旅》より「私にどんな咎があるのですか？」 山下・小堀

歌劇《セビリヤの理髪師》より「私は街の何でも屋」 池内

「あの金貨の効能は」 小堀・池内

歌劇《ラ・チェネレントラ》より「何か分からぬ甘美なものが」 山下・小堀

「哀しみのうちに生まれ」 山下・小堀・池内

ほか

心震わすステージがいま幕を開ける！

歌唱芸術の極みといわれるベルカントは、声の敏捷な動きや、息の長いフレーズの美しさなどで知られる19世紀のイタリア・オペラだ。最大限に味わうためには、その道のエキスパートである名歌手たちが必要である。この度、東京の観客に熱狂を引き起こした浜離宮ベルカント・シリーズの出演者たちがそのまま神戸に登場し、極上の歌声を理想的な大きさのホールで楽しめることになった。

テノールの小堀勇介は、輝かしい声と歌心で、観客を惹きつけるカリスマ性を持ったアーティストであり、ロッシェニ歌いとしても知られている。メゾソプラノの山下裕賀は京都府出身、恵まれた美声を活かし、役柄への没入と音楽性がずば抜けた俊才だ。そして姫路市出身のバリトン池内響は、ベルカントの歌唱にうってつけのエレガントな音色と演劇的センスの持ち主で、今、最も注目されているオペラ歌手の一人である。ピアノは匠の技術と歌への感受性を持つ矢野雄太。

今回のプログラムはオール・ロッシェニ！ 美食家としても知られるロッシェニは、喜劇、悲劇の両ジャンルで傑作オペラを数多く書いた。前半は、早口言葉が楽しいテノールとバリトンの二重唱でスタートし、面白さ満載、だがやがて心を打たれる初期の傑作《アルジェのイタリア女》が中心となる。そして前半最後は《ランスへの旅》からの情熱的な愛の二重唱だ。

後半はロッシェニのもっとも有名な二つのオペラ・ブッファ《セビリヤの理髪師》《ラ・チェネントラ(シンデレラ)》から。誰でも知っているオペラの名アリアの一つ、フィガロの「私は街のなんでも屋」で始まり、《ラ・チェネントラ》の王子ラミーロとチェネントラの出会いの二重唱、《セビリヤ》の伯爵とフィガロ、ロジーナとフィガロの二重唱と名場面が続く。最後は二つの超絶技巧のアリアで締め括られる。軽やかな味わいと、本物の迫力の両方を堪能できる演奏会になりそうだ。

井内美香(オペラ・キュレーター)



©松尾淳一郎

山下 裕賀(メゾソプラノ) Hiroka Yamashita, mezzosoprano

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程を首席修了。同大学院博士後期課程単位取得。第92回日本音楽コンクール声楽部門第1位および聴衆賞、第9回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞を受賞。これまでに《セビリヤの理髪師》ロジーナ、《ラ・チェネントラ》アンジェリーナなどで出演。2025年は新国立劇場による創作委嘱作品 細川俊夫(ナターシャ)(世界初演)アラト、日生劇場《サンドリオン》シャルマン王子でそれぞれ出演。2026年はNHKニューイヤーオペラコンサート、群馬交響楽団《カルメン》タイトルロール、京都市交響楽団《コジ・ファン・トゥッテ》ドラベッラ、東京都交響楽団定期演奏会ではマラー「千人の交響曲」、ブリテン「春の交響曲」でそれぞれソリストとして出演予定。日本声楽アカデミー会員。令和6年京都市文化芸術きらめき賞受賞。

小堀 勇介(テノール) Yusuke Kobori, tenor

国立音楽大学声楽専攻ならびに同大学院声楽専修オペラ・コースを首席で修了。第88回日本音楽コンクール声楽部門第1位など入賞多数。2016年、文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてイタリアに留学。チロル祝祭歌劇場にて《アルジェのイタリア女》リンドーロで欧州デビュー。帰国後は、びわ湖ホール《連隊の娘》トニオ、日生劇場《愛の妙薬》ネモリーノ、《セビリヤの理髪師》アルマヴィーヴァ伯爵などベルカント・オペラ作品に次々と出演。2025年は大宮ソニックシティ新作オペラ《平家物語～平清盛～》源義朝、藤沢市民会館《羊飼いの王様》アレッシンドロ大王などで出演。2026年は藤沢市民オペラ《ランスへの旅》リーベンスコフ伯爵、日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》ドン・オッターヴィオなどで出演予定。日本ロッシェニ協会会員。武蔵野音楽大学講師。

池内 響(バリトン) Hibiki Ikeuchi, baritone

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程音楽研究科声楽(オペラ)専攻修了。2017年に渡伊。ミラノで研鑽を積み、2018年に第56回ヴェルディの声国際コンクール入選(伊)。2019年第10回サルヴァトーレ・リチートラ声楽コンクール第1位(伊)、2022年第20回東京音楽コンクール声楽部門第1位及び聴衆賞等多数受賞。2025年はびわ湖ホール《死の都》フランク、日本フィルハーモニー交響楽団《仮面舞踏会》レナート、大宮ソニックシティ新作オペラ《平家物語～平清盛～》題名役などで出演。2026年はNHKニューイヤーオペラコンサート、全国共同制作オペラ《愛の妙薬》ベルコーレ、日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》題名役などで出演予定。第37回姫路市芸術文化奨励賞、第25回坂井時忠音楽賞、2020年兵庫県芸術奨励賞の各賞を受賞。

矢野 雄太(ピアノ) Yuta Yano, piano

東京藝術大学ピアノ科卒業後、同大学院修士課程修了。その後渡伊、ミラノ市立クラウディオ・アッパード音楽院指揮科を経て、ミラノ・スカラ座研修所を修了。第13回アントニオ・ナポリターノ国際ピアノコンクール第1位をはじめ、国内外のコンクールにおいて、優勝、入賞多数。ヨーロッパ、アジア、日本各地でリサイタル、室内楽、コンチェルトソリストとして演奏を行い、著名な楽器奏者、歌手とも多くの演奏会、音楽祭にて共演する。指揮者としては《カヴァレリア・ルスティカーナ》等を指揮、また、ミラノ・スカラ座《ジャンニ・スキッキ》《リゴレット》、上海・上音オペラハウス《魔笛》などでアシスタントを務める。東京文化会館主催(現代人形劇×クラシック音楽)では音楽監督を務め、活動の幅を広げている。東京藝術大学非常勤講師。2026年春、ファーストアルバムCD発売予定。

神戸朝日ホール オンラインチケット (要事前登録)

<https://www.kobe-asahihall.jp/> [神戸朝日ホールオンラインチケット](#) [検索](#)

※神戸朝日ホールでの窓口販売はございません。

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221

イープラス <https://eplus.jp/> (10:00~18:00)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ローソンチケット <https://l-tike.com/>

※U30の取り扱いにはフェスティバルホールチケットセンター(電話・WEB)のみ

※U30チケットは公演当日に満30歳以下の方が対象。

入場口にてチケットとともに生年月日の分かる身分証をご提示ください。

※就学前のお子様はご入場いただけません。

※都合により公演内容が変更となる場合がございます。

※公演延期・中止の場合を除き、チケット代金の払戻しはございませんので予めご了承ください。

お問合せ **神戸朝日ホール 078-333-6540** (10:00~17:00)



神戸朝日ホール

〒650-0035 兵庫県神戸市中央区浪花町59

アクセス

- JR三宮駅または阪急・阪神・地下鉄・ポートライナーの各三宮駅より徒歩約10分
- JR元町駅または阪神元町駅より徒歩約8分
- 地下鉄海岸線旧居留地・大丸前駅または三宮・花時計前駅より徒歩約5分
- JR新神戸駅からタクシーで約7分
- 神戸空港からタクシーで約20分またはポートライナーで約18分「三宮」下車徒歩約7分